

03

2年探究科「問いと検証方法の相談会」

問いの相談会

5月20日(水)5・6限目に探究文科、5月21日(木)5・6限目に探究理科の2年生を対象として、「問いと検証方法の相談会」を行いました。相談会では、生徒たちがこれから2年間をかけて取り組む研究の「問い」および問いに答えるための「検証方法」などを講師の先生に相談し、意見交換を行いました。



探究文科 相談会の様子



探究文科 相談会の様子



海外の学生・教員との交流

2年探究文科「人文社会探究Ⅰ」

探究文科は9班に分かれ、社会問題・倫理学、法と政治、グローバル、経済、言語・文科、教育、心理の分野について、各テーマを決め、探究活動を進めています。

今回は、講師の先生をお招きし、問いや検証方法についての相談会を行いました。生徒たちは、自分の研究内容や方法について、熱心に講師の方々に説明し、今後の研究課題について積極的に質問していました。

今年度は、3回研究内容について説明する形式で行い、3人のそれぞれの先生方から貴重なアドバイスを頂きました。テーマについて多様な視点をいただき、生徒たちは研究内容をどのように焦点化していくか、思考を深めていました。

また、生徒たちは、海外の学生や教員の方々にも英語で研究内容を説明し、相手の疑問や質問に真摯に応えることで、多くの刺激を得たようです。「楽しかった!」という声も多く聞かれ、充実した時間であったようです。

ある先生は「重いテーマだが、高校生らしい提言ができるとうい。明るい未来を創造しよう」と鼓舞してくださいました。スキルだけでなく、研究に対する姿勢も教えていただきました。

講師の先生方の紹介

林 誠一 先生(富山大学) 遠藤 貴広 先生(福井大学)
沼尻 卓也 先生(福井大学) 伊達 正起 先生(福井大学)
藤野 秀則先生(福井県立大学) 渡邊 綾 先生(福井県立大学)
鷲田 祐一先生(一橋大学) 市川亮平先生(市川法律事務所)
野村 幸史先生(福井県教育委員会)

その他、福井大学留学生の方々もアドバイザーとして参加してくださいました。

2年探究理科「自然科学探究Ⅰ」

2年探究理科の生徒たちは、1学年の2月から「探究基礎」と「自然科学探究Ⅰ」の授業を通して、自分たちの研究の土台となる以下の6つの項目について調べ、まとめてきました。

- ① オリジナルの「問い」
- ② 関係する「先行研究」
- ③ 先行研究との違い(自分たちの「研究の意義」)
- ④ 問いの「検証方法」
- ⑤ 「仮説」
- ⑥ 関係する「研究をリードする大学」

今回は、大学や企業から講師の先生をお招きして、各グループがまとめた①～⑥の内容について相談会を行いました。シンフォニアテクノロジー様とはオンラインでの相談会を実施したほか、海外の学生・教員に対して自分たちのやりたいことを英語で説明し、英語でアドバイスをいただくといったグローバルなやりとりにも挑戦しました。

専門的な助言から得た、新たな気づきと発見

生徒同士の話し合いでは出てこないような具体的かつ専門的なアドバイスを受け取ったことで、生徒たちは今後の研究方針がより明確になったようです。また、自分たちの考えの根拠が乏しいことに気づかされるなど、多角的なアドバイスをすることで新たな発見に結びつく場面もありました。

英語でのコミュニケーション: 課題と大きな収穫

英語による相談会では、実践的なリスニング力の不足や、英単語のアウトプットの難しさ、本当に伝わっているかという不安感など、多くの課題が見つかりました。その反面、英語の授業で習った構文を実際に使えた経験や、「完全でなくても相手には熱意が伝わる」という手応えを得ることもでき、生徒たちにとって非常に良い経験となりました。これは、10月に控えているシンガポール研修のための素晴らしい実践経験になったと感じています。

今後のSSH研究開発の発展に向けて

大学の先生方や企業の方々からは、「先行研究をもとに研究を突き進めていくことも良いが、俯瞰的に研究を見て幅広い知識を身につけることもかなり重要である。その知識が自分の興味に結び付き、研究のモチベーションになっていくのではないか」など、今後の本校のSSH研究開発をさらに発展させていくことができるような、貴重なご意見をたくさんいただくことができました。



大学教員との相談会



企業(福井村田製作所)との相談会



企業(シンフォニアテクノロジー)との相談会
(オンライン)



海外の学生・教員との交流

講師の先生方の紹介

米沢 晋 先生(福井大学) 浅原 雅浩 先生(福井大学) 遠藤 貴広 先生(福井大学)

沼尻 卓也 先生(福井大学) 鳩貝 太郎 先生(東京都立大学)

福井村田製作所 様 シンフォニアテクノロジー 様

その他、福井大学、シンガポール南洋理工大学の学生、海外の教員の方々もアドバイザーとして参加してくださいました。